

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成26年10月9日 午後7時00分から午後8時50分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員()、新井徳委員、内山長雄委員、柿島勲委員、北澤美恵子委員、清住洋子委員()、小林裕美委員、斎藤勇一委員、桜井久美子委員、下村利枝子委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢喜代二委員、伏見貴昭委員、柳沢裕子委員、()児童館懇談会へ出席 【欠席委員】4名
5	市側出席者	渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、聲山市民生活課長兼健康福祉課長、 雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、佐藤地域政策係長、 青井統括主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年11月6日
	作成部局課名	地域振興課地域政策係
協議事項等		
1	開会(竹内副会長)	
2	あいさつ(伏見部会長) 皆さんお疲れさまです。清住会長が別会議に出席されているので、今日は私があいさつさせていただきます。 今日は、公園化構想部会のために講師に和田(博幸)先生(公益財団法人 日本花の会・花と緑の研究所)を渋沢センター長からご紹介いただいて、来ていただきました。センター長や職員、協議会メンバー、部会メンバーで、今日一日武石地域内を見て回りました。私の感想としては、初めて行った場所もありこんな良いところがあったのかと思ったのが第一の印象、そのような感想でした。 これから1時間いただきまして、和田先生の講演をお聞きます。和田先生よろしくお願ひします。	
3	武石地域全域公園化構想の推進について	
	(1) 推進事項の概略	
	(伏見部会長) 前々回の部会議の中で武石地域全域公園化構想は、武石地域の方々から見た場合に、どんなことをやっているのかわからないので、地域全体にPRする必要があるのではという話が出た。広報紙等でPRをして、地域の方々に知ってもらい参加できる形にしたい。たとえば「サブタイトル」を作成して、構想全体がわかりやすい(イメージしやすい)ネーミングを設けたらという話があった。また、武石地域の良さを掲載した「公園化普及パンフレット」を作成して宣伝する方法もよいのではないかという意見や、私のお気に入りの場所を写した写真をメンバーや地域全体から集め、展示会開催、武石文化祭などで見ていただき、武石の良さを再認識してもらおう。次回からだんだん詰めて進めていきたいと思う。	
	(2) 武石地域全域公園化構想の概略	
	【渋沢センター長から映像を使って説明】	
	【質疑・意見等】	
	・ なし	
	(3) 講演	
	・ 演題「花のまちづくりと武石の公園化構想のすすめ」	
	・ 講師 和田 博幸氏(公益財団法人 日本花の会・花と緑の研究所主任研究員・樹木医)	

【和田講師 講演から主な内容を掲載】

花のまちづくりの進め方

- ・ 自宅の花飾りが原点
- ・ 住民同士の連携と広がり
- ・ 協働とパートナーシップ
- ・ 子どもの参加

地域に根ざした花のまちづくり

- ・ 周りの景色との調和
- ・ 花が生き生きと育つ（土づくり）
- ・ 花が派手過ぎず、地味過ぎず
- ・ ホスピタリティーを表現

周辺の景色に調和した花づくりのポイント

- ・ 花壇のデザイン
- ・ 花飾りの仕掛け（場所）づくり
- ・ 目障りなものを排除
- ・ 季節感を演出
- ・ 感性を高める
- ・ 都市空間には緑がベース
- ・ 田園風景には派手な花が似合う

（４）今後の取組など（質疑、討論）

- （伏見部会長） 和田先生ありがとうございました。冒頭申したが、本日は地域内を回ってきた。午前は、自治センターを出発して美しい国別荘地や美ヶ原高原の美しい塔、武石峠を經由して番所ヶ原スキー場、巢栗溪谷、練馬少年自然の家を観て回った。午後は、大布施のひがん桜・もみじ公園、唐沢小原の福寿草・アジサイ群生地、小寺尾集落、権現集落、森林公園マレットゴルフ場、ともしび博物館、武石公園、鳥屋の集落、それから下武石地籍の清水坂橋、中島橋、小沢根の子檀嶺神社、河川公園を観て、七ヶ集落から藪合集落へ、ほぼ全域隈なく回った。武石地域のモデルコースを何箇所か作り、取り組むのも良いかと思っている。先生の講演を聴いて、皆さんも感じている所があると思う。先生のお力添えいただき進めたい。皆さん講演を聴いて何かお聞きしたいことがあったら出してもらいたい。

【質疑・意見等】

- （委員） フランスが行っている運動について、詳しくお聞きしたい。
- （和田氏） フランスでは第二次世界大戦から10年が過ぎ、人口が都市に集中した。日本より小さい町村単位で、3万くらいある。若者が外に出てしまう。そこでフランスでは「フランスを花で飾ろう」「フルール・フランス（FF）」FF活動により田舎町が花で飾られ、きれいになったことで、観光客が訪れるようになった。人口千人に満たない町でも教会、店、墓地、川沿いに花を植え、それによって町が活性化し、若い人が外に流出するのが止まった。その事例がいくつかあり、FF活動の成果、定着が見られた。うまくいけばそういう事が出来ると思う。
- （委員） 前協議会からの公園化構想は継承されていると思う。武石地域も素晴らしいポイントがたくさんある。特に武石川はまれにみるきれいな川で、白い石と岩盤の川は日本に多くない美しい川。アカシアが生え茂っているので伐採し開けたら素晴らしいところとなり印象も変わる。河川をきれいにするのは市、建設省などとお金がかかるが、川の岩盤の美しさや、白い石の良さを見渡せる場所を作れば人も集まるし、川に下りて遊ぶ。川を大切にしていきたいと思う。
- （委員） 武石地域の良さは緑、空気よさ、川、素朴な人間。せいしゅん村のほっとステイ（教育旅行）の活動では、来た方が半日自然散策をする。川遊びをしたり、武石公園のブセキ拾いをする。河川のアカシアの木は4、5年で大きく太くなる。また、松くい虫による枯れた松も何とかしないと気になるところ。
- （委員） 外来種の木、アレチウリなど駆除するがボランティアを募ってやっても大変だ。予算も少して負担は大きい。各地ではどんな手入れをされているか。
- （和田氏） 今のところ手作業で駆除するしかない。地域の方が熱心にやるしかない。
- （委員） アレチウリは最近多くなった。草丈も長く、種の量も多い。セイタカアワダチソウ、ブタクサなどやっかいだ。
- （委員） 田舎は人が少ないことから、対策が行いづらい。大布施地域は数人の方が熱心に管理し、きれいにしている。

- (委員) 小さな滝、清水が出ている滝。ポイントもある。もっと良いところをきれいにすれば良いと思う。
- (委員) 子どもが頭から飛び込める川は近辺にはない。もっと整備して宣伝したほうが良い。ここにしかない財産だ。
- (委員) きれいになっていれば良いが、藪の中にはヘビ、マムシもいる。注意したほうが良い。
- (部会長) 今日は忙しく回ったが、林道は初めて通った。武石地域視察と一緒にいかれた委員さん、感想を聞かせていただきたい。
- (委員) 武石を点として考えると良いところがいっぱいあるが、線で結ばれてないから、ちょっと見ただけで終わり、帰ってしまう。どうやって線で結ぶかを考えていかないといけない。
- (委員) これから地域協議会、公園化構想で考え、まとめていく。
- (委員) 今日始めて行くところが多くて、お仙ヶ淵(渓谷)も感動した。もみじ橋(大布施橋)も良い所だった。この季節にはこの場所というモデルコースを作って連れて行っていただけるといいなと感じた。
- (委員) 私も里山の会に入っているが、茂沢地籍の10kmくらいあるコース、美しの別荘頂上公園からササの遊歩道を登る一時間の良いコースを皆さん連れて行ってみたい。
- (委員) 地元の者が知らないのに外へ向かってどう発信したらよいか。
- (部会長) 私のお気に入りの場所ということで、地域全体から写真を募集し発表する。そういう機会に地元の方は良いところを再認識する。そのように将来、文化祭に集めてやってみよう。発信しないことには始まらない。再認識するチャンスと思う。
- 今日のところはここまでとさせていただきます。先生の講演から武石の魅力を再認識、今後話を進めていく上で活用させていただきたい。よろしくお願いいたします。長時間にわたりありがとうございました。

4 その他

- ・ なし

5 閉会(竹内副会長)